

〔対 談〕

児童文学と  
子どもの空想力





# 児童文学と子

西本鶏介氏  
(昭和女子大学教授)

深谷昌志氏  
(静岡大学教授)

【はじめに】

児童文学は存在しないのか——

子どもの頃、宮沢賢治や小川未明の童話に心をうばわれた思い出がある。

現代の子どもたちは、童話のかわりにテレビのアニメやテレビゲームに熱中しているのであろうか。

時代の流れとはいうものの、成長の糧となる児童文学は現代に存在しないのか。児童文学の第一人者・西本鶏介先生に、そうした状況をお尋ねしたいと思った。(深谷)

## 生活童話とファンタジー

深谷 日本の児童文学には、2つの大きな流れがあるような気がします。1つには生活主義といったらいいのでしょうか、子どもの生活に密着した文学の流れですね。もう一方に空想性の文学の流れがあって、この2つが対立してきたように思うのですが、西本先生はどのようにお考えですか。

西本 わかりやすい言葉で分けますと、1つには現実を舞台にしたお話、一般的にいう生活童話があります。もう1つはお話の舞台が非現実の世界、つまり空想の世界のお話ですね。これは俗にファンタジーといわれています。具体的に申しますと、角野栄子の『魔女の宅急便』などがそうです。おっしゃる通り児童文学には、お話の基本に2つのタイプが

あるわけですが、戦後の児童文学を振り返ってみますと、ファンタスティックなお話の方が子どもたちの共感を呼んでいるように思います。

深谷 歴史的には、アンデルセンやグリムはファンタジーと考えていいのですか。

西本 一口にファンタジーと申しまして、いろいろ考え方があります。例えば小川未明の『赤い蠟燭と人魚』やアンデルセンの作品などは、空想物語ですからファンタジーと言えなくもないのですが、現代のファンタジーは単なる幻想風なお話ではなくて、空想の世界のお話でありながら現実をちゃんとふまえた、あるいは現実をもう一度空想の世界に移し変えたようなお話が多いのです。ですからSF的なものもありますし、歴史的なものもあるんです。

深谷 つまり『赤い蠟燭と人魚』などは、ファンタジーの古典というわけですね。

西本 そういう見方もできると思います。現代のファンタジーの最も古典的な作品は何かと考えますと、ルイス・キャロルの『不思議の国のアリス』が挙げられます。アリスという少女が、ウサギ穴に落ちて不思議な体験をし、穴から出て再び現実に戻るというお話ですが、現代のファンタジーというのは、わざわざ不思議な場所とか、おそろしい場所に行かなくても、現実の舞台の中で1つの不思議な出来事が起きるといえるものです。

深谷 そうしますと今の子どもたちが、小川

# 子どもの空想力

未明の『赤い蠟燭と人魚』を読んでも、つまらないと思うのでしょうか。

**西本** 人魚にまつわる空想的な物語、あるいは昔話風な物語として読めばそれなりにおもしろいと思うのですが、今の子どもたちの感性からいえば、ややクラシックすぎるのではないかという気がします。むしろ日常、自分たちの住んでいる場所から、すぐに不思議な世界に入っていける物語の方がずっと楽しいと思います。『魔女の宅急便』がおもしろいのは、魔女の世界というのは従来のお話ですと、魔女のいる世界に出かけていかなければならなかったのですが、この作品は魔女の方から箒に乗って人間の世界にやってくるわけです。そして、人間の世界の中で宅急便という新しい職業を始めるというところに、子どもに受けるポイントがあると思うんです。つまり、空想の物語ではあるけれども、ファンタスティックな世界が私たちの身近なところで展開されていくというのが今風で、それが多くの子どもたちに親しまれている要因だと思います。

## 宮沢賢治はファンタジーの先駆者

**深谷** 『魔女の宅急便』を映画で観ましたが、そういうふうには解釈していなかったですね。

**西本** 『不思議の国のアリス』には、わざわざウサギ穴があって、穴に落ちると非現実な

世界、穴から出てくると現実の世界という1つの通路があったわけですが、現代の児童文学にはその通路がなくなって、自由に不思議な世界と行き来できるというようなお話の傾向が多いですね。日本の作家たちのファンタジーを読んでも、ほとんどが私たちの身近な場所で出来事が起きる。ちょっと歩いていると街角に喫茶店があって、喫茶店に入ると地下に不思議な場所があるというような、空想物語というのが今日のファンタジーといっているいいでしょう。

**深谷** 例えば、宮沢賢治の『注文の多い料理店』はどうでしょうか。

**西本** 宮沢賢治という人は、すごい発想をする作家だと思うことがあります。なぜかと申しますと、実はファンタジーの方法を確立したのはイギリスなんですけど、大正時代、つまり日本にまだファンタジーという感覚がなかった時代に宮沢賢治はすでにファンタジーを書いていたということなんです。ストーリーの展開は空想そのものですが、そのシチュエーションは架空のものではありません。例えば『風の又三郎』もそうですが、お話の舞台は全部現実なんです。

**深谷** 『注文の多い料理店』も、いわゆる普通のうちが舞台になっていますね。

**西本** そうです。都会から2人の紳士が猟に行き、料理店で山猫に追いつめられていくという、非常にスリリングなおもしろいお話ですが、お話の舞台は現実と空想との垣根のな

い現実である山の中です。考えてみますと、その頃にそういう捉え方をしている童話作家は日本にはあまりいないんです。

深谷 先生は、新美南吉の童話をどのように評価しますか。

西本 鈴木三重吉が大正7年に、雑誌『赤い鳥』を創刊しまして、子どものための新しい文学をつくりだそうとしました。しかし、子どもの純真な心に応えるという童心主義の文学を打ち出したのはいいのですが、そうした子どものやさしい心に応えるというイメージが強くて、お話そのものがあまりおもしろくなかったのです。新美南吉はプロの作家ではなく『赤い鳥』の投稿者の一人だったんですが、そうした風潮の中で18歳のとき、『ごんぎつね』を投稿し、鈴木三重吉に認められて雑誌に掲載されるのです。彼はその後、亡くなる前に『おじいさんのランプ』を1冊出しているくらいで、職業作家としてやってきた人ではないんです。

新美南吉の作品は、もちろん日本の童心主義の伝統をふまえてはいますが、何よりストーリー性が豊かで、主人公の心理がたくみに描かれています。また南吉の作品は、ファ

ンタジーというより民話的な風土を背景にしていると考えていいと思いますが、伝統的な流れの童心主義とちょっと違うところにおいて、むしろ作家として生まれなかったからこそ、あのように自由に内心の世界を描けたのではないかと思います。

## ディズニーは空想物語の典型

深谷 外国に目を向けて、ディズニーの一連のものはどのように評価なさいますか。

西本 ディズニーの作品は、メルヘンをもとにした楽しい動物物語といったらいいのでしょうか。日本の昔話に出てくるような、微笑ましい動物のキャラクターの世界もありますし、どれもがとても楽しい作品ばかりです。動物が自由に話したりするのは、童話の持つ大きな魅力の1つですし、昔話からずっと続いているパターンです。ここで話を宮沢賢治に戻しますと、彼の作品の魅力の1つは、人間も動物も自然も、同じ次元に立ってものを言い合うというところにあると思います。その意味では、ディズニーと宮沢賢治の世界には共通する部分があると言えますし、ディズニーの作品は空想物語の典型と言えるのではないのでしょうか。

深谷 宮沢賢治のすごい発想という部分を、もう少しお聞かせください。

西本 賢治は、自分の作品は心象スケッチだと言っています。自然の中にいけば風のしゃべることがわかる。星のかがやきを見ていけば星の思いがわかる。つまり彼は、「全宇宙の微塵となりて……」というようなことを言っていますが、賢治の作品の世界というのはすべてが人格を持ち、心を持っているという考え方です。ですから作品を書くことによって、読み手を鼓舞してやろうというのではなく、むしろ自分の思いを作品にしているといっていると思います。換言すれば、これらは読者が不在の作品といっているのですが、それが逆に、それぞれが読み手と対話できる作品になっているのです。つまり、自分の心

### 西本鶏介（にしもと・けいすけ）氏 プロフィール

1934年（昭和9年）奈良県生まれ。昭和女子大学文学部教授。児童文学の評論、創作、民話研究など幅広く活躍。評論に『子どもの本の作家たち』（東京書籍）、『文学のなかの子ども』（小学館）、『児童文学の世界』（偕成社）、『世界の名作・童話100冊の本』（PHP）、童話に『おとうさん、やくそくだよ』（金の星社）、『がんばれゆうくん1ねんせい』（あかね書房）、民話に『おばけ・うれしい話』（偕成社）、『日本のおばけ話』（小学館）など200冊ほどの著書がある。

象スケッチとして童話を書いているために、読者がその作品と対話でき、1つの作品に対していろいろな考え方を持つことができるということです。

深谷 宮沢賢治の最後の作品は何ですか。

西本 賢治は作品をたくさん書いていますし、発表の年代もわかっているものと、わからないものがありますから、はっきりしていないのです。ご存じのように『銀河鉄道の夜』は未完のまま終わっていますし、こうした例も少なくはないのです。しかし、新美南吉にしろ、宮沢賢治にしろ、生前無名だった作家の作品が、なぜ今、私たちが読んで心を打たれるのか、とても不思議な気がします。

### おとなにも読まれる坪田譲治

深谷 ところで、もう一方の流れ、生活的な童話といえますと、即座に坪田譲治の『善太と三平』を思いだすのですが……。

西本 それまで童心主義の人たちの作品というのは、子どもを登場させても至純なすばらしいやさしい心を持った子どもというイメージで、いわゆる生きている子ども、生活臭のある子どもを登場させなかったのです。つまり、生き生きしている子どもが作品の中に登場してこなかったのです。それを作品の中にはじめて登場させたのが坪田譲治というわけです。

しかしこの作品は、今の子どもたちが読んでも、あまり喜ばないと思いますね。坪田譲治はデビューが遅くて40歳すぎなんです、昭和10年代、日本が日中戦争から後の太平洋戦争へと続く暗い時代に入っていくときに、『お化けの世界』を書いたり、『風の中の子供』が新聞に連載されて人気ができます。こうした暗い時代に逆行するように、子どもの純粋な姿を描いたことが、やり切れない思いでいる多くのおとなたちの救いとなって受け入れられたのではないのでしょうか。ですから、『善太と三平』に限らず坪田譲治の読者は、必ずしも子どもだけでなく、おとなにも大勢



西本鶏介氏

いるのです。

深谷 鈴木三重吉も童心主義なんですか。

西本 鈴木三重吉が童話に手を染めたのは、長女に本を読んでやろうと思ったら、ろくなものがなかったというのがきっかけだと言われています。その頃の児童文学界の大御所は<sup>5)</sup>巖谷小波で、戯作調の『こがね丸』のほか、彼の手によるものは日本のおとぎ話や昔話ばかりでした。そこで三重吉は自分で書くわけですが、正直言って彼の童話はあまりおもしろくないんです。彼は自分の力が足りないということがわかったのか、他の作家に童話を書かせることを思いついたのです。当時は童話作家というものがまだ存在していなかった、童心主義を主張し、おとなの文壇の作家を総動員して童話を書かせたのです。

### 鈴木三重吉の業績

西本 大正7年の『赤い鳥』の創刊号には芥川龍之介の『蜘蛛の糸』が掲載されました。その後、『赤い鳥』には、有島武郎の『一房の葡萄』など数々の名作がたくさん残されましたし、島崎藤村、菊池寛、佐藤春夫など、多数のおとなの作家が執筆しています。ですから、鈴木三重吉の業績はプロモーターとして、おとなの作家に童話を書かせたことだと思うんですね。

深谷 話は変わりますが、昔話をリメイクする人たちがいますが、あれは現代的にはどう

深谷昌志氏



という意味があるのでしょうか。

**西本** 私もその1人なんですけど……。昔話はご存じのように、地方で口から口へ語り伝えられてきたものです。そして、その地方の方言で語られるのが普通です。語り手がしゃべったものを筆記して本にするわけですが、しかし子どもの読み物として考えた場合、例えば方言などの問題で大変わかりにくいという面があります。それを現代のわかりやすい言葉にかえて再話するのがリメイクです。この分野での現代の第一人者として、松谷みよ子などがあげられます。

戦後、女優の山本安英の主宰する「ぶどうの会」などが民話を使って新しい市民運動を起こそうとしました。木下順二が彼女のために書いた『夕鶴』は、佐渡の民話を素材としたものですが、どこの国の子どもにもわかるように、やさしく書くというのが再話なんです。今までは昔話は口で語って、耳で聞くものでした。しかし、そういう習慣が家庭になくなってしまい、代わりに書物で読ませる、あるいは読んで聞かせるという形が増えてきました。口で伝えるというスタイルはすたれてしまっただけで文字を通して読む、つまり聞く文学から読む口承文芸に変わったということですね。もちろん時代は変わっても昔話の持つ魅力とか、不変的なおもしろさといったものは変わらないわけですから、今でも昔話は子どもたちにとって、つまらない童話よりはるかにおもしろい。おばけ話などはまさにそこ

に入ってくるわけです。

**深谷** 先生は児童文学の評論家であり、同時に作家でもあるわけですが、今の子どもに受ける童話という意味で、作家としてはどのようなことに気をつけていらっしゃるのでしょうか。

**西本** 正直に申しあげて、今は童話はあまり売れません。極端にいうと、子どもが本を読まなくなったということですね。また児童文学作家たちが、子どもが目指しているものをなかなかつかむことができないことにも原因があります。今の子どもだって、楽しくて、おもしろくて、冒険ができてというお話、つまり私たちが、かつて『少年倶楽部』などで読んだお話の魅力と変わらないものを欲していると思うんです。そのいい例として、那須正幹が書いた『ズッコケ三人組シリーズ』があるんですが、現在までに版を重ねて、総部数が1500万部に届く勢いだそうです。お父さん、お母さんが読んで、今ではその子どもたち、つまり二代目が読んでいるというこの作品の魅力は何なのかというと、3人のそれぞれ個性のある子がいて、いろいろな冒険をしたり、株式会社を開いて株券をだしてみたり……と、主人公は子どもですが、おとながやるようなことをやって活躍するというストーリー展開です。つまりこれは、かつて私たちが夢中になって読んだものと同じ世界を描いているんですね。それだったら、そうした子どもたちにアピールするものをもっと書けばいいのではないかと言われますが、そういうエンターテインメントの作品を書くためには、作家としての力量が相当必要なのです。それよりも問題意識を持って書いた方が作品としては書きやすいかもしれません。

現在の児童文学のシリアスなテーマとしては、離婚問題などが非常に多いのです。また老人と子どもの問題を扱ったものもかなりあります。しかし、かつて私たちが読んだおじいさんの話はやさしいおじいさんの話でしたが、今のおじいさんの話はおじいさんの生き方を子どもが認めてあげるといえるのが多いの

です。

### 空想、想像できる文字の魅力

深谷 原作を先生がお書きになって、漫画家が漫画にするということはないんですか。

西本 さし絵は描いてもらいましたが、漫画の原作は書いたことがないですね。漫画の方がわかりやすいのかもしれませんが、私は活字の世界の方がいいですね。実は最近、逆に人気漫画の『ドラえもん』を童話にしたいという話があって、すでに4冊出ているんです。

深谷 読者の反応はいかがですか。

西本 読んだ方はとても楽しいとおっしゃってくださいますね。

深谷 自分なりの空想が広がって、自分なりの『ドラえもん』ができあがるということでしょうか。しかし、これだけ漫画が家庭の中に入ってくると、文学としての童話は先細りという感じは抱きませんか。

西本 たしかに今は、漫画を読む子はとても多いですね。そうした中で、文字が漫画に勝

てるかという、正直言ってむずかしいと思います。ですから『ズッコケ三人組シリーズ』は貴重な存在で、こういう作品がもっと出てくることを望んでいます。楽天的な考え方もかもしれませんが、これだけ漫画が氾濫していると、人間は不思議なもので、ただ見たものがパッと目に浮かぶ漫画に比べて、文字を通して空想、想像できる文字の持つ魅力を見直すと思うのです。

今、人気がある『学校の怪談シリーズ』にしても、これは漫画ではないんです。明らかに文字なんです。それを子どもたちが喜んで読んでいることを考えますと、文字を通して空想、想像できる世界がまだ子どもたちの中に生きているんだなと意を強くします。

深谷 そのことはテレビにも同じことが言えるのではないのでしょうか。

西本 もちろん物語には、さし絵が入ることがありますが、基本的には文字を読んであれこれ空想することの方がおもしろいのです。今は子どもたちの世界で童話があまり読まれないという状況はありますが、そういう中で健闘しているのが怪談だとか、幽霊の話なん



ですね。それはなぜなのかということを考えてみますと、子どもたちはやはり、空想の世界というものを想像しているのではないかと思いますね。

## 日本の子どもは読書好き

**深谷** イギリスなどへ行くと、子どもの中で児童文学はある一定の重みを持っています。本も読まれているようですが、日本の場合、何で「右へならへ」で、テレビや漫画に行ってしまったとお考えですか。

**西本** 表面的に捉えれば、すべての子どもがテレビや漫画に行ってしまったような感じがするんですが、実は児童書はかなりの部数が出ているのです。また、比べてみれば、イギリスの子どもより日本の子どもの方が、本をたくさん読んでいると思うんです。日本は本がよく売れる国なんです。学校には図書館があり、国も学校図書館に予算をおろしていますし、読書の量としてはイギリスやアメリカに負けてはいないと思うのですが、日本は漫画が氾濫しすぎてしまっている。ですから現実問題として、図書館には本は入っているんだけど、町の本屋さんではどんどん児童書が圧迫されてしまっているという状況なんですね。漫画は売れるけれど、児童書を置いても売れない……、ここのところを今後、どのように開拓していくのか。子どもにどのようにして本を読ませっていくのかを考えると、暗澹たる気持ちになりますね。

ただ、人間というのは、先ほど申しあげましたように、必ずしも目に映るものだけで納得するのではなくて、子どもながらに想像力もあれば、空想力も持っている。ですからその1つの証拠として、一連の『学校の怪談シリーズ』が読まれるし、おばけや幽霊の話を子どもは好むんだと思います。

**深谷** この対談が掲載される『モノグラフ・小学生ナウ』の読者は、小学校の先生方が多いのですが、先生から何かアドバイスがございましたらお願いします。

**西本** 講演のときにもよく話すのですが、子どものすばらしいものをみつけるためには、今、子どもたちが読んでいるもので、いちばん人気のあるものは何かを、まず先生がきちんと把握することだと思います。また、いろいろな情報に注意していて、今どんなものが評判になっているのか、どんな読まれ方をしているのかということに関心を持っていただきたいと思います。先生方もいろいろとお忙しいでしょうが、どうか子どもの側に顔を向けていただきたい。

小さいときにあまりこわいお話をすると、子どもの精神状態によくないということを言いますが、私は大胆にこわい話をして、子どもがふるえあがって2〜3日失神するようなお話をしたほうが、むしろ子どもにとっていいのではないかと思うんです。私たちの空想のはじまりは全部闇であり、こわさの中から空想力は育った。それが、今はどこへ行っても明るくて、闇が1つもない。そうすると何もこわくないんです。何がこわいのかもわからないし、人間の心はどうなんだろうということもわからなくなってしまう。

今の子どもたちをみていると、感動する、こわがる、おどろくというような感性が非常にマヒしているという気がします。

**深谷** 子どもというのは、こわさとか、ある感覚を持って育っていかないと、人間性が広がっていかないのでしょね。

**西本** いつの時代も子どもは、わくわくどきどきする話が好きです。ジンクスという古い因習のような感じがしますが、子どもたちにはジンクスが生きている生活が必要だと思うんです。あそこへ行くと、おばけができるかもしれないとか、都会でもいわゆるミステリーゾーンが生まれていかななくてはいけない。いくら文明が進んだとしても、新しい文明の中でのミステリーゾーンが生まれていかななくてはいけないと思うんです。今の子どもたちが学校の怪談というものに興味を持つのは、もう都会からミステリーゾーンがなくなってしまったからなのです。ただ学校とい



うところはなんとなく不気味で、放課後など誰もいなくなったあとなどは非常に奇妙な感じがしますね。先ほど申しましたファンタジーではありませんが、子どもたちは身近なところから起きるおそろしさというものに興味を持ってきているのではないのでしょうか。  
深谷 どうもありがとうございます。

[対談を終えて]

若い頃に買って質問した

学生時代にセツルメントと呼ばれる活動に参加していた。恵まれない子どもたちに本を読んであげたり、遊び相手になったりする活動である。

その頃、子どもに読んで聞かせたり、人形劇の台本を作るために童話を集めていた。今回、西本先生と話しているうちに、20代の思い出がうかんできて、学生の気分に戻っているいろいろお尋ねした。さすがに何十年の蓄積をうかがわせるように、どんな質問にもはっきりとした回答が戻ってきた。

(1) 小川未明(おがわ・みめい1882~1961) 小説家、童話作家。日本の近代児童文学史の童話文学を確立させた。『野ばら』、『月夜と眼鏡』などの作品がある。

(2) 新美南吉(にいみ・なんきち1913~1943) 童話作家。雑誌『赤い鳥』に投稿して認められる。没後、評価され、作品が教科書に載る。『牛をつないだ橋の木』、『手ぶくろを買いに』などの作品がある。

(3) 鈴木三重吉(すずき・みえきち1882~1936) 小説家、童話作家。大正7年『赤い鳥』を創刊、童心主義文学運動を展開する。『ぼっばのお手帳』、『湖水の女』などの作品がある。

(4) 坪田譲治(つばた・じょうじ1890~1982) 小説家、童話作家。至純な子どもの姿とはいえ、現実の中の子どもの描き出す。『子供の四季』、『魔法』などの作品がある。

(5) 巖谷小波(いわや・さざなみ1870~1933) 小説家、童話作家。1891年『少年文学叢書』の第1編として『こがね丸』を発表。明治期の子どもの読み物を普及させた。『小波お伽全集』などがある。

## 『新訂 児童文学創作講座 1 創作を始める人に』

西本鶏介・北川幸比古・砂田弘著『新訂 児童文学創作講座 1 創作を始める人に』（東京書籍）から「鈴木三重吉と『赤い鳥』」（p. 141～p. 146）、「宮沢賢治の童話」（p. 188～p. 193）（以上、西本鶏介執筆）を抜粋しました。

### 鈴木三重吉と「赤い鳥」

「現在世間に流行している俗悪な子供等の読物（中略）を排除して、彼等の真純な感情を保全開発するために、現代第一流の作家、詩人（中略）の誠実な努力を集め、かねて子供のために真価ある若き創造家（中略）の出現を迎える、最初の一大区画的運動」を標榜するだけあって創刊号からして、北原白秋、島崎藤村、芥川龍之介、泉鏡花、徳田秋声、小島政二郎、小山内薫といった豪華な執筆メンバーであった。

第1次世界大戦景気によって、日本の資本主義は、いよいよ隆盛になり、中産階級の生活は一応の安定を示すことになる。自由主義の風潮が高まり、それまでの国家教育による画一主義を排して、児童の個性と創造性を解放する芸術教育が行われるようになった。

夏目漱石の流れをくむ教養・文化主義の発展、平塚らいてう等「青鞜」の文化的、自我中心による女性の解放運動、賀川豊彦等の宗教的ヒューマニズムによる社会改良など、いわゆる大正デモクラシーがあらゆる文化の生産を占めつつあった。児童の人格を尊重し、内面の童心に重きを置く近代の文学によって、社会や家庭の一隅に押しやられていた子どもたちの解放に立ちあがったのが「赤い鳥」の児童文学運動であった。

「世間の小さな人たちのために、芸術として真価のある純麗な童話」である「赤い鳥」の文学は、なによりもまず子どもの心を大切にしようとする立場をとっていた。おとなに従属させられてきた子どもたちに自由で個性的な芸術を与えることで、その至純な童心を失わせまいとした。

たとえば、鈴木三重吉のよき理解者であった北原白秋は、「童謡私観」というエッセイのなかで次のように述べている。

児童は成人の父であるという。いかなる成人たりとも畢竟は本性としての童心を失い得るものではない。それゆえにこそ人間の尊さはあるであろう。（中略）私はよく童心に還れといった。しかし、この意味はただ児童の無智をよしとする謂いではない。ことさらに児戯を模し、児童におもねる謂いではない。真の思無邪の境涯にまでその童心を通じて徹せよというのである。恍惚たる忘我の瞬間に於いて、真の自然と渾融せよということである。

童謡と童話という形式の違いはあっても、童心主義の本質をよく言い表していることばだと思ふ。童心は子どもだけでなく、成人にもあり、成人はその童心を高次に止揚することによって、純真素朴な文学が生まれるとい

うのである。いいかえれば、自由で汚れない子どもの心に、絶対的な理想世界を見ようというのが童心主義文学ということになる。

この「赤い鳥」の「童心観」の偏重が後の児童文学にもたらした欠陥（現実とのかかわりを逃れて童心の中に遊ぶ）は認めなくてはならないが、ともかくも童話を芸術分野の1つとして確立させたことは高く評価されるべきだろう。

また三重吉は、すぐれた童話作家であるより、文壇の主要作家を集めるプロモーターであったとしても、もし「赤い鳥」がなかったら文壇作家による名作の数々を生むことはできなかったかもしれない。

ところで、「赤い鳥」の主宰者であった三重吉が初めて自分の童話集を出したのは、1916年（大正5）、春陽堂から発行された『湖水の女』である。いうまでもなく、これは小波に対する挑戦状であり、2年後の「赤い鳥」創刊へのステップともなった作品である。彼は、その序文で次のように述べている。

私は、これまで世の中に出ている、多くのお伽噺に対して、いつも少なからぬ不平を感じていた。ただ話が話されているというのみで、いろいろの意味の下品なものが少なくない。単に文章から言っても、ずいぶん投げやりな俗悪なものが多い。この点だけでも子供のために、いかににもがにがしい気持がする。それから材料そのものの選び方にも、考えの足りないのが往々ある。

さらに、彼は、この童話を書いた直接の動機として、次のように述べている。

大正5年6月、長女すずが生まれる。はじめて子供を得た無限のよろこびの下に、すべてを忘れてすずを愛撫した。そのためには、すずがまだ遊ぶこともできない玩具を買いあつめたりすると同時に、お話をよむにはなおさら遠い遠いすずの

ために坊間のいろいろの子供の読み物を漁って見た。そして、そのことごとくが実に乱暴で下等なのおどろきあきれた。そこで私は別にどこへ出すという意味でもなく、ただ至愛なすずと話してやりでもするような、純情的な興味から、すずの寝顔を前にしたりして、『湖水の女』外3編の童話を書いた。

（「私の作編について」『鈴木三重吉全集』第5巻）

しかし、そのころの三重吉は小説に行き詰まり、経済的にも窮迫していた。前年に出した『鈴木三重吉全集』が売れず、春陽堂にその負債を返すために、西洋のお伽噺を出すことになったというのも事実である。

小波のお伽噺に対する不満、あるいは経済的理由のいずれによって童話を書いたのか、どうかはともかく、お伽噺の代名詞であった童話を、名実ともに童話にしようとする彼の苦心の跡が見てとれる。とりわけ文章には気をくばったらしく、通俗的な言いまわしやありきたりのおとなのことばはほとんど見られない。

昔ウェイルスの或山の上に、寂しい湖水がありました。その近くの或村に、ギンという若者が母親と2人でくらしおりました。或日ギンは湖水のそばへ牛をつれて行って草を食べさせて居りますと、じき間近の水の中に、知らない若い女がふうわりと立って、金の櫛で徐かに髪を梳いて居りました。

と、いう書き出しで始まる「湖水の女」はウェイルスの伝説を再話したものである。

湖水の中から現れた不思議な女と結婚した若者が約束を忘れて女を3度なぐったために、再び湖水の中に逃げられ、自分もあとを追ってとびこんでしまうというロマンチックで悲しい、いかにも抒情家の三重吉が好みそうな素材である。ほかに「馬鹿ぞろい」、「二人出

ろ、「龍退治」の3編が収められているが、いずれも外国民話の再話である。

小波のお伽噺に比べて確かに素材も新鮮で文章も平易で清純なことばを使い、芸術的香りを出そうとしているが、民話の再話に変わりはなく、純然たる童話とはいえない。しかし、マンネリ化した小波のお伽噺を否定し、ともかくにも上質で芸術的な子どもの読み物にしようとする唯美的で、浪漫的な個性だけは見ることができよう。

愛児すずの誕生（作品ではすず子）から、鳩の鳴きまねをするまでに成長する姿を、家族のよろこびを通して描いた、彼の唯一の創作『ぼっぼのお手帳』の文章に至っては、今日から見れば、いたずらに「お」をつけた、きざなていねい語に見えるが、当時では、やはり上品なことばだったのだろう。

## 宮沢賢治の童話

生前、宮沢賢治に読者は不在であった。1924年（大正13）、29歳の時、詩集『春と修羅』を自費出版し、続いて最初の童話集『注文の多い料理店』を上梓するが、一般的な反響はほとんどなかった。花巻の、ある書店に販売を頼んだところ、料理の本とまちがえられ、ついに1冊も売れなかったというエピソードが残っているほどだ。

1921年（大正10）、それまでもくもくと童話を書き、短歌や詩をつくっていた賢治は、法華経への信仰ますますやみがたく、突然上京して、布教活動にはいり、かたわらく文芸による大乘仏教の真意を広めんと、もうれつに童話を書き始める。この年、小川未明は「赤い蠟燭と人魚」を、浜田広介は「椋鳥の夢」を、宇野浩二は「露の下の神様」を書き、雑誌「赤い鳥」や「童話」による人たちは、新しい童話をめざして、はなばなしく活動していた。

賢治も、自分の童話を発表すべく三重吉のところへ原稿を持ちこんだりしたが、その特異な作品を認めてくれる人はいなかった。妹

トシの病気の報に、それらの原稿をトランクいっぱいにつめ、再び岩手県の故郷へ帰っていく。

1926年（大正15）、賢治は農学校の教師をやめ、みずから土に生きることを決意して、羅須地人協会なるものをつくり、自炊の農耕生活をしながら、近隣の農家の子弟を集めて、農芸科学・芸術の講義を始めた。以後、1933年（昭和8）、38歳で病死するまで農村改良運動を続けながら数々の童話や詩を書き残したのであった。だが、今日、賢治の作品を愛する読者はあとをたたない。いや、これからはますますふえつづけるだろう。童話作家としての名声のうちになくなっていった人に比べて、無名のうちに死んでいった賢治の童話が、なぜ、これほどまでに多くの人々の心をとらえるのだろうか。ありあまる才能を持ちながら小説に背を向け、ひたすら童話と詩だけを書きつづけていったのはなぜだろうか。

彼は本を売るために、読者を得るために童話を書いたのではなかった。あくまで自分の世界観の必然から童話を生み出したのである。自己を語るのに分別くさく読者を考える必要はないのだ。みずからも信じ得ないファンタジーをどうして人に語りかけることができよう。賢治にとっては、童話こそが、宇宙的な生命を語るにふさわしい場所であった。

見えないものが見え、不可能が可能になる世界、自然も動物も人間も一つになり得る生命の真相を詩魂のこもる独特のことばで描いたのである。もはや現代人の忘れてしまった風の心を、森のささやきを、山の叫びを、賢治はこの現実だけではない全宇宙の見える場所（童話）から語りかけようとした。

たとえば、賢治のファンタジーには、西欧風の魔術も、はなやかな妖精も登場しない。だが、そんな物語以上に、わたしたちを自然の神秘と暖かな土の香のなかに運びこんでくれるのである。だれもいない家の中から、ざわざわっとほうきの音が聞こえてくる時、子どもたちが両手をつないで円くなり、ぐるぐる座敷の中をまわっているうちに、いつの間

にか1人ふえている時、それはみんな「ざしき童子」のしわざだという。ストーリーらしいストーリーもない、わずか数枚の作品(「ざしき童子のはなし」)からでも、民俗信仰の中に生きる素朴な子どもの心がいきいきと伝わってきて、いまにも「ざしき童子」が現れそうな気になってくるのだ。

どっどど どどうど どどうど どどう  
う、  
青いくるみも吹きとばせ  
すっばいかりんもふきとばせ  
どっどど どどうど どどうど どどう  
う

谷川の岸に小さい学校がありました。教室はたった1つでしたが、生徒は1年から6年までみんなありました。運動場もテニスコートのくらいでしたが、すぐうしろは栗の木のあるきれいな草の山でしたし、運動場のすみにはごぼごぼつめたい水を噴く岩穴もあったのです。

こんな書き出しで始まる「風の又三郎」は、台風シーズンの二百十日(9月1日)から7日までの、わずか1週間のできごとを中心に、村の分教場に転校してきた風変わりな少年が、ついに村の子どもたちから、風の童子、又三郎にされてしまうまでを、子どもたちの心と自然の動きを重ねあわして描いたものである。

さわやかな9月1日の朝、この分教場に転校してきた高田三郎は、白い半ズボンをはき、赤い革の半ぐつをはいた都会風な少年で、みんなとはどこか異質で、神秘的にさえ見える。彼がいると必ず風が吹くというので、村の子どもたちは、風の又三郎と呼び、その正体を確かめようとする。

すると、不思議なことに又三郎が歩き出すと校庭につむじ風が起こり、いっしょに牧場へ行っても、栗拾いに行っても、その行動はまるで風の童子としか考えられない。川の中の鬼ごっこで、又三郎が鬼になっても、やは

り彼は泳ぎがうまく、子どもたちは、たちまちつかまってしまう。しかも、その時、にわか雨が降ってきて、どこからともなく「雨はざっこざっこ雨三郎 風はどっこどっこ又三郎」という叫び声が聞こえる。

ついに、6年生の一郎までが、その晩、夢の中で、この叫び声を聞いてとび起きる。外はひどい風で、林がほえているように鳴っている。又三郎のせいだ。あいつは、きっと遠くへ飛んでいったにちがいない。翌朝、一郎はご飯も食べずに風雨の中を学校へ駆けつける。案の定、又三郎がいない。先生から又三郎の父が都合で急に本社へもどることになり、彼も昨日のうちに、転校していったことを知らされた子どもたちは、やっぱり三郎は、風の又三郎だったと信じこむ。

都会からきた子どもを民話の主人公にしてしまわずにはいられない子どもたち。その自然へのあこがれと恐れ、それは、生きとし生けるものすべてが1つになることを願う賢治童話の理想の世界でもある。ちなみに、この童話は賢治の死後に発表されたもので、ザラ紙、和紙、400字および600字詰原稿用紙などに書かれ、赤インクや青インク、鉛筆など、すべて病床の手近にあったもので手なおしされていたという。

賢治は科学と宗教の融合する理想の世界を描いても、決して教訓的な物語にはしない。ブドリの苦悩にみちた一生を描きながら、彼はそのことによって現実社会を糾弾することもなければ、働く者の苦しさを強調しようともしない。ブドリはやがてくる美しい人間世界を願って科学の殉教者にさえなろうとする。したがって、その理念は自己犠牲の代償の上に成りたち、現実を変革するまでの社会認識に至っていないと批判することは簡単である。

だが、賢治童話のすばらしさは、その自己犠牲も辞さずに、全人間的な理想を願うところにある。「グスコープドリの伝記」は、賢治その人の生活でもあったのだ。

ネコ、カッコウ、タヌキ、野ネズミたちの協力によって、やっと満足な演奏をすること

ができた「セロ弾きのゴーシュ」。ただ動物好きというのではなく、彼らに人間と等価な、いやそれ以上の愛を感じることができた賢治ならではの作品である。

そんな動物の殺生をなんとも思わず、自分の飼い犬さえも物としか見ることができない都会の紳士。うわべだけは西洋風に気取りながら、そのくせ、自分ではなにもできない小心者。そんな人間を痛烈に皮肉ったのが「注文の多い料理店」である。しかもそれをストレートに皮肉るのではなく、不気味でユーモラスなファンタジーの世界で巧みに展開させている。自分が食われるとも知らないで、山猫の注文どおりに踊らされる紳士たちがそのことに気づくまでのこっけいで、スリリングな盛り上がりも、この童話のおもしろいところだ。

その他、「どんぐりと山猫」、「なめとこ山

の熊」、「よだかの星」、「オツベルと象」、「銀河鉄道之夜」など、約100編におよぶ賢治童話には、ふくよかな自然の生命とみずみずしい詩人のイメージがみごとに表現されている。その独特のユーモアとひたすらに人生を生きた深い洞察力が、時代を越えて、いまなお人々の心をとらえることになる。そこにはおとなと子どもといった垣根もなく、自然とともに生きる人間の本質が童話という形式によって崇高なまでに象徴されている。

ファンタスティックで絵画的な表現、いきなり本筋に入っていくような民話風ストーリーの展開、リズム感にあふれる文体、近代児童文学の主流からはなれた異質な存在でありながら、自然と心ゆくまで語りあうことのできる賢治童話は、いまや万人の文学として光り輝いている。

## ちょうさのおねがい

これはテストではありませんので、思ったとおりに教えてください。  
まず、やりかたの練習をしましょう。

### ●やりかたの練習●

あなたはカレーライスがすきですか？

とても  
すき 1 ———— ② ———— 3 ———— 4 ———— 5  
かなり  
すき 2 とても  
きらい

あなたがカレーライスを「かなりすき」だったら、  
上のように2のところに○をつけてください。

① まず、あなたのことを教えてください。

- 1) 学校の名前……………( )小学校
- 2) 学年……………(1. 4年 2. 5年 3. 6年)〈○でかこむ〉
- 3) 男女……………(1. 男子 2. 女子)〈○でかこむ〉
- 4) 家族の人数……………あなたを入れて( )人
- 5) あなたは、おじいさんやおばあさん(かたほうでもいいです)と、いっしょに住んでいますか。(1つだけえらんで、あてはまる番号に○をつけてください。)
  1. 今、いっしょに住んでいる(どちらか1人でもいいです)
  2. 前に、いっしょに住んでいたことがある(どちらか1人でもいいです)
  3. 1度も、いっしょに住んだことはない

これからあなたに教えてほしいのは、「お守り」や「うらない」「おまじない」「ふしぎな話」などのことです。

② プロミスリングのことをききます。

1) あなたは、プロミスリングを手につけたことがありますか。(1つだけに○)

1. 今もつけている
2. 前につけていた
3. つけたことがない
4. (プロミスリングという) ことばが、わからない

つぎの2)は、プロミスリングをつけたことがある人だけ、教えてください。  
つけたことがない人は 3へ進んでください。

2) あなたは、なぜプロミスリングをつけている(つけていた)のですか。  
(あてはまる番号には、いくつでも○をつけてください。)

1. みんながしているから(はやっていたから)
2. 友だちからもらったから(つけないとわるいので)
3. おしゃれだから
4. もしかしたら、ねがいがかなうかもしれないから
5. どうしても、かなえたいねがいがあったから

～ここからは、またみんなにおたずねします。～

③ 「お守り」について教えてください。

1) あなたは交通安全などの「お守り」を持っていますか。  
(一番あてはまる番号に、1つだけ○をつけてください。)

1. いつも学校に持っていく(カバンなどにつけていく)
2. 何かのときに持っていく(つけていく)
3. つくえの引き出しなどに、いつもしまってある(外には持っていない)
4. 前にあったけど、なくしてしまった
5. 1こも持っていたことがない



- 2) 「お守り」は、ききめがあると思いますか。
1. ぜったい、ききめがあると思う
  2. もしかしたら、ききめがあるかもしれない
  3. たぶん、ききめはない
  4. ぜったいに、ききめはない

つぎの3)～5)は、「お守り」を持っている人だけ、  
 答えてください。  
 持っていない人は 4)へ進んでください。

- 3) 「お守り」は何を持っていますか。 ( ) こ
- 4) 「お守り」は自分で買ったのですか、それとも人からもらったのですか。
1. 自分で買った…………… (1. はい 2. いいえ)
  2. お父さんやお母さんから…………… (1. はい 2. いいえ)
  3. おじいさんやおばあさんから… (1. はい 2. いいえ)
  4. きょうだいから…………… (1. はい 2. いいえ)
  5. 友だちから…………… (1. はい 2. いいえ)
- 5) あなたは、古い「お守り」をどうしていますか。
1. すてるとバチがあたりそうなので、大切にとってある
  2. なんとなく、とってある
  3. すててしまった

～ここからは、またみんなにおたずねします。～

④ あなたには、つぎのようなことがありますか。

- |   | 何回もある | 1回だけある | ぜんぜんない |
|---|-------|--------|--------|
| 1. ゆうれいを見たこと……………                               | 1     | 2      | 3      |
| 2. 自分や家族や友だちのとった写真に「れい」(ふしぎなもの)が<br>うつつたこと…………… | 1     | 2      | 3      |
| 3. カセットにふしぎな声がろく音<br>されたこと……………                 | 1     | 2      | 3      |

● 資料1 調査票見本

- |                                    | 何回もある | 1回だけある | ぜんぜんない |
|------------------------------------|-------|--------|--------|
| 4. 虫の知らせ(なんとなく、これからおきることがわかったこと) … | 1     | 2      | 3      |
| 5. おいのりしたら、ねがいがあったこと……………          | 1     | 2      | 3      |
| 6. 「かなしばり」(体が動かなくなるような感じ) にあったこと…… | 1     | 2      | 3      |

⑤ あなたは、つぎのことが好きですか。

- |                                    | とても好き | わりと好き | あまりきょうみがない | ぜんぜんきょうみがない |
|------------------------------------|-------|-------|------------|-------------|
| 1. おばけの話……………                      | 1     | 2     | 3          | 4           |
| 2. テレビの「UFO」の番組……………               | 1     | 2     | 3          | 4           |
| 3. 「ちょうのうりょく」についての番組……………          | 1     | 2     | 3          | 4           |
| 4. 「れいし」(見えないものをあててしまうこと) についての番組… | 1     | 2     | 3          | 4           |
| 5. 「さいみんじゅつ」の番組……………               | 1     | 2     | 3          | 4           |

⑥ あなたは、つぎのようなことをしたことがありますか。

- |  | 何回もした | わりとした | 1、2回した | したことがない |
|--|-------|-------|--------|---------|
| 1. 幸福(不幸)の手紙を出したこと…                            | 1     | 2     | 3      | 4       |
| 2. 「こっくりさん」(エンゼルさん・キュービッドさん・星の王子さま) をしたこと…………… | 1     | 2     | 3      | 4       |
| 3. おまじないをしたこと……………                             | 1     | 2     | 3      | 4       |
| 4. スプーンをねん力でまげようとしたこと……………                     | 1     | 2     | 3      | 4       |
| 5. おねがいたいことがあって、お寺や神社や教会へ行っておがんだこと……………        | 1     | 2     | 3      | 4       |
| 6. パワーストーンの入ったアクセサリーを買ったこと……………                | 1     | 2     | 3      | 4       |

⑦ では、つぎのことはどうですか。

1) 雑誌などの「うらないらん」を見ますか。

1. 毎月のように見る
2. ときどき見ることがある
3. 何回か見たことがある
4. 1回も見ることがない

2) 雑誌にのっている「〇〇うらない」は、ほんとうにあたると思いますか。

1. とてもよくあたる
2. わりとあたる
3. ときどきあたる
4. ほとんどあたらない
5. ぜんぜんあたらない

⑧ あなたは、つぎのようなことがどのくらいありますか。

	何回もある	1回だけある	ぜんぜんない
1. 死んだ人の顔を見たこと……………	1	2	3
2. おそう式に出たこと……………	1	2	3
3. 生まれたばかりの赤ちゃんを見たこと……………	1	2	3
4. お年よりのせわをしたこと……………	1	2	3
5. 体の不自由な人(目が見えない、足が不自由など)と話をしたこと	1	2	3

⑨ つぎのような「ふしぎなこと」は、ほんとうにあると思いますか。  
ことばの意味のわからない人は(5)に○をつけてください。

	ぜったい ある	あるかも しれない	たぶん ないだろう	ぜったいに ない	意味が わからない
1. テレバシー……………	1	2	3	4	(5)
2. 生まれかわり(死んで、つぎの 人に生まれかわること)……………	1	2	3	4	(5)
3. 心れい写真(れいがうつった写 真)……………	1	2	3	4	(5)

● 資料 1 調査票見本

- |  | ぜったい<br>ある | あるかも<br>しれない | たぶん<br>ないだろう | ぜったいに<br>ない |              |
|--|------------|--------------|--------------|-------------|--------------|
| 4. 神社におまいりすると、ねがいが<br>かなう……………           | 1          | 2            | 3            | 4           |              |
| 5. わるいことがあったら（神社で）<br>おはらいしてもらおうといい…………… | 1          | 2            | 3            | 4           |              |
| 6. 「お守り」のききめ……………                        | 1          | 2            | 3            | 4           |              |
| 7. 神社におさいせんをあげると、ね<br>がいがかなう……………        | 1          | 2            | 3            | 4           | 意味が<br>わからない |
| 8. たたり……………                              | 1          | 2            | 3            | 4           | ……………(5)     |
| 9. 神かくし（人がとつぜんいなくな<br>ること）……………          | 1          | 2            | 3            | 4           | ……………(5)     |

Ⅹ つぎのような「ふしぎなもの」は、ほんとうにいますか。  
ことばの意味がわからない人は(5)に○をつけてください。

- |  | ぜったい<br>いる | いるかも<br>しれない | たぶん<br>いるだろう | ぜったい<br>いない | 意味が<br>わからない |
|--|------------|--------------|--------------|-------------|--------------|
| 1. 「れい感」の強い人……………                      | 1          | 2            | 3            | 4           | ……………(5)     |
| 2. 「れいし」（ふつうの人には見えな<br>いものが見えること）…………… | 1          | 2            | 3            | 4           | ……………(5)     |
| 3. ようせい……………                           | 1          | 2            | 3            | 4           | ……………(5)     |
| 4. ふしぎな力で病気をなおす人……………                  | 1          | 2            | 3            | 4           |              |

Ⅺ では、つぎのことをあなたは信じますか。

- |   | ぜったい<br>信じる | すこし<br>信じる | あまり<br>信じてない | ぜんぜん<br>信じてない |
|---|-------------|------------|--------------|---------------|
| 1. 神さまをバカにするとバチがあ<br>たる……………            | 1           | 2          | 3            | 4             |
| 2. 手のひらの生命線が長いと長生<br>きできる……………          | 1           | 2          | 3            | 4             |
| 3. 耳たぶが、ふっくらしていると<br>お金持ちになる……………       | 1           | 2          | 3            | 4             |
| 4. 血液型でせいかくがわかる……………                    | 1           | 2          | 3            | 4             |
| 5. 18日の金曜日はえんぎがわるい<br>（わるいことがおこる）……………  | 1           | 2          | 3            | 4             |
| 6. れいきゅう車を見たら、どれか<br>の指をかくきないと親が死ぬ…………… | 1           | 2          | 3            | 4             |

- |                                       | ぜったい<br>信じる | すこし<br>信じる | あまり<br>信じてない | ぜんぜん<br>信じてない |
|---------------------------------------|-------------|------------|--------------|---------------|
| 7. 写真をとるとき、3人のまん中の人は早く死ぬ……………         | 1           | 2          | 3            | 4             |
| 8. わるいことがつづいた人は、名前をかえるとよい……………        | 1           | 2          | 3            | 4             |
| 9. おぼんには、死んだ人のたましいが、家に帰ってくる……………      | 1           | 2          | 3            | 4             |
| 10. 茶ばしら（お茶の中の小さなくき）が立つと、いいことがある…………… | 1           | 2          | 3            | 4             |
| 11. おはかまいりをすると、死んだ人がよろこぶ……………         | 1           | 2          | 3            | 4             |
| 12. 天国と地ごく……………                       | 1           | 2          | 3            | 4             |

12 あなたは何かこまったとき、神さまや仏さまにおいのりしますか。

- |                                     | よくいのる | たまにいのる | いのらない |
|-------------------------------------|-------|--------|-------|
| 1. 自分の病気がひどい（とてもいたいとか、ねつが高い）とき…………… | 1     | 2      | 3     |
| 2. 家の人が病気のとき……………                   | 1     | 2      | 3     |
| 3. テストがうまくいくように……………                | 1     | 2      | 3     |
| 4. 自分にわるいことがおきたとき……………              | 1     | 2      | 3     |
| 5. 友だちなどが、とてもかわいそうなとき……………          | 1     | 2      | 3     |

13 あなたは花子さんの怪談の話を知っていますか。  
（太郎さんとか、そのほかの名前のゆうれいでもいい）

1) 1. 知っている 2. 知らない

2) あなたの学校のゆうれいが、花子さんがいのの名前を持っていたら、書いてください。

● 資料1 調査票見本

3) あなたの学校に、花子さんなど(ゆうれい)の出る場所がありますか。

1. ある      2. ない      3. よく知らない

↓  
「ある」と答えた人だけにききます。

(「ない」、「よく知らない」と答えた人は 14 へ進んでください。)

① 花さんはどこに出ますか。(出る場所全部に○をつけてください。)

1. トイレ    2. 教室    3. 音楽室    4. 理科室  
5. 階段    6. 校庭    7. プール    8. そのほか(                      )

② 花さんは、あなたの学校にほんとうに出るのですか。

1. ほんとうに、見た人がいる  
2. 気のせいだろう  
3. 作り話だろう

14 あなたは、神さまや仏さまがほんとうにいると思いますか。

1. ぜったいいる  
2. もしかしたら、いるかもしれない  
3. いない

15 あなたの家に仏壇がありますか。

1. ある      2. ない

↓  
「ある」と答えた人だけにききます。

(「ない」と答えた人は 16 へ進んでください。)

① あなたの家族の人は、毎日おがみますか。

毎日ねっ心に    ととき    ほとんど    ぜんぜん    その人が  
おがむ    おがむ    おがまない    おがまない    いない

1. お父さん..... 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 .....(5)  
2. お母さん..... 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 .....(5)  
3. おじいさん..... 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 .....(5)  
4. おばあさん..... 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 .....(5)

16 あなたの家は、おひがんやおぼんに、おはかまいりに行きますか。

1. みんなでそろって、かならず行く
2. たいてい、行く
3. たまに行く
4. あまり行かない

17 あなたは、どんな子ですか。

- |                     | とても<br>そう | わりと<br>そう | あまり<br>そうでない | ぜんぜん<br>そうでない |
|---------------------|-----------|-----------|--------------|---------------|
| 1. 外遊びがすき……………      | 1         | 2         | 3            | 4             |
| 2. 本を読むのがすき……………    | 1         | 2         | 3            | 4             |
| 3. スポーツをするのがすき…………… | 1         | 2         | 3            | 4             |
| 4. なんでもすぐ決められる…………… | 1         | 2         | 3            | 4             |
| 5. がんばるほう……………      | 1         | 2         | 3            | 4             |
| 6. 空想するのがすき……………    | 1         | 2         | 3            | 4             |
| 7. 暗いところがこわい……………   | 1         | 2         | 3            | 4             |
| 8. よくゆめをおぼえている…………… | 1         | 2         | 3            | 4             |
| 9. 友だちが多いほう……………    | 1         | 2         | 3            | 4             |
| 10. 今、しあわせ……………     | 1         | 2         | 3            | 4             |

～これで終わりです。長い間どうもありがとう。～

● 資料2 学年・性別集計表

単位：サンプル数以外はパーセント

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	4年	5年	6年		
サンプル数		1,598	809	789	605	463	530		
①	あなたのこと	家族の人数	1. 2人	0.7	0.5	0.9	1.0	0.4	0.6
			2. 3人	6.7	6.8	6.6	6.9	6.9	6.2
			3. 4人	39.9	38.4	41.3	37.2	41.1	41.9
			4. 5人	26.8	27.1	26.5	26.8	27.6	26.0
			5. 6人	14.1	15.1	13.1	15.2	11.7	14.9
			6. 7人	9.0	9.5	8.5	9.8	9.3	7.9
			7. 8人以上	2.8	2.6	3.1	3.1	3.0	2.5
	の同居	と	1. 今、一緒に住んでいる	26.9	27.5	26.2	28.9	25.6	25.8
			2. 前に、一緒に住んでいたことがある	16.2	16.4	16.1	15.4	15.1	18.1
			3. 1度も、一緒に住んだことはない	56.9	56.1	57.7	55.7	59.3	56.1
②	プロミスリングについて	が ある か	1. 今もつけている	3.7	3.1	4.4	3.6	4.5	3.2
			2. 前につけていた	74.9	69.2	80.6	79.7	72.3	71.6
			3. つけたことがない	18.7	22.9	14.5	13.7	20.6	22.8
			4. 言葉がわからない	2.7	4.8	0.5	3.0	2.6	2.4
	い な ぜ 、 つ け て い る の か	1. みんながしているから	43.8	50.3	38.1	44.4	38.0	48.3	
		2. 友だちからもらったから	19.0	19.6	18.4	19.4	21.0	16.6	
		3. おしゃれだから	11.2	7.8	14.2	8.3	14.2	12.3	
		4. もしかしたら、悪いがかなうかもしれないから	46.0	36.1	54.5	47.0	47.9	43.0	
		5. どうしても、かなえない願いがあったから	19.4	16.0	22.4	23.4	19.8	14.1	
		6. その他	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
③	持っているか	1. いつも学校に持って行く	39.0	34.3	43.7	38.2	38.8	40.0	
		2. 何かのときに持って行く	11.8	10.8	12.8	12.3	11.5	11.4	
		3. 机の引き出しなどに、しまっている	19.7	18.8	20.7	18.2	20.0	21.3	
		4. 前にあったけど、なくした	10.7	13.2	8.2	11.5	11.9	8.8	
		5. 1個も持っていたことがない	18.8	22.9	14.6	19.8	17.8	18.5	
	お 守 り に あ る か	き き め が あ る か	1. ぜったい、ききめがあると思う	23.2	23.0	23.4	27.2	24.4	17.6
			2. もしかしたら、ききめがあるかもしれない	63.2	58.2	68.3	61.2	62.4	66.1
			3. たぶん、ききめはない	8.3	10.8	5.8	6.1	8.9	10.4
			4. ぜったいに、ききめはない	5.3	8.0	2.5	5.5	4.3	5.9
	リ ン グ に あ る か	何 個 持 っ て い る か	1. 1個	41.3	45.9	37.4	42.3	43.5	38.4
			2. 2個	29.3	26.7	31.6	25.7	30.0	32.7
			3. 3個	17.0	16.2	17.7	18.1	16.3	16.3
			4. 4個	5.2	3.4	6.7	4.5	5.4	5.7
			5. 5個	3.7	4.6	2.9	4.5	1.6	4.6
			6. 6個以上	3.5	3.2	3.7	4.9	3.2	2.3
	つ け て い る か	自 分 で 買 っ た ら	1. はい	12.5	9.2	15.2	9.5	15.9	12.8
			2. いいえ	87.5	90.8	84.8	90.5	84.1	87.2
		父 母 か ら	1. はい	80.1	79.3	80.7	82.0	78.4	79.4
2. いいえ			19.9	20.7	19.3	18.0	21.6	20.6	
祖 父 母 か ら		1. はい	47.6	41.9	52.3	44.8	45.1	52.7	
		2. いいえ	52.4	58.1	47.7	55.2	54.9	47.3	
兄 弟 か ら		1. はい	6.1	7.1	5.3	7.4	4.5	6.0	
		2. いいえ	93.9	92.9	94.7	92.6	95.5	94.0	
友 だ ち か ら		1. はい	7.6	6.6	8.4	7.5	4.8	10.1	
		2. いいえ	92.4	93.4	91.6	92.5	95.2	89.9	
古 い お 守 り を ど う し て い る か		古 い お 守 り を ど う し て い る か	1. 捨てるとバチが当たりそうなので、とってある	48.5	46.9	49.8	50.4	50.7	44.5
			2. なんとなく、とってある	45.6	46.2	45.1	44.9	39.8	51.5
	3. 捨ててしまった		5.9	6.9	5.1	4.7	9.5	4.0	



質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	4年	5年	6年		
4	次のようなことがあるか	幽霊を見たこと	1. 何回もある	7.2	6.8	7.6	9.6	7.4	4.3
			2. 1回だけある	15.0	13.7	16.4	16.8	17.6	10.7
			3. ぜんぜんない	77.8	79.5	76.0	73.6	75.0	85.0
		とが写真に撮られたこと	1. 何回もある	7.0	8.3	5.7	7.1	7.7	6.4
			2. 1回だけある	20.3	18.5	22.0	24.2	19.5	16.5
			3. ぜんぜんない	72.7	73.2	72.3	68.7	72.8	77.1
		たが録音されたこと	1. 何回もある	7.1	8.2	6.0	8.1	8.5	4.7
			2. 1回だけある	12.2	13.1	11.3	13.3	14.4	9.1
			3. ぜんぜんない	80.7	78.7	82.7	78.6	77.1	86.2
		虫の知らせ	1. 何回もある	13.6	13.5	13.8	13.5	14.1	13.4
			2. 1回だけある	15.8	14.4	17.2	17.3	15.9	14.0
			3. ぜんぜんない	70.6	72.1	69.0	69.2	70.0	72.6
		ことが祈りで願ったこと	1. 何回もある	18.8	15.9	21.6	18.0	21.8	17.0
			2. 1回だけある	34.9	29.3	40.6	39.6	34.9	29.7
			3. ぜんぜんない	46.3	54.8	37.8	42.4	43.3	53.3
たに「かなしばり」があったこと	1. 何回もある	6.8	8.2	5.5	7.3	9.3	4.1		
	2. 1回だけある	14.4	14.7	14.1	16.6	13.5	12.8		
	3. ぜんぜんない	78.8	77.1	80.4	76.1	77.2	83.1		
5	次のことが好きか	おばけの話	1. とても好き	30.5	28.9	32.1	35.1	32.5	23.6
			2. わりと好き	33.5	31.0	36.0	31.4	30.5	38.4
			3. あまり興味がない	21.1	22.2	20.0	18.9	21.5	23.2
			4. ぜんぜん興味がない	14.9	17.9	11.9	14.6	15.5	14.8
		の番組「UFO」	1. とても好き	26.8	32.4	21.1	31.3	27.8	21.0
			2. わりと好き	24.1	23.6	24.6	21.6	24.9	26.3
			3. あまり興味がない	27.3	23.8	30.8	24.4	23.9	33.4
			4. ぜんぜん興味がない	21.8	20.2	23.5	22.7	23.4	19.3
		番組「超能力」	1. とても好き	33.2	36.1	30.3	38.2	35.8	25.2
			2. わりと好き	27.7	24.5	31.1	22.7	28.5	32.8
			3. あまり興味がない	20.9	18.3	23.5	18.6	21.2	23.2
			4. ぜんぜん興味がない	18.2	21.1	15.1	20.5	14.5	18.8
		組つての番組「監視」	1. とても好き	25.5	26.1	24.9	29.0	25.6	21.6
			2. わりと好き	24.9	21.5	28.5	21.4	26.2	27.6
			3. あまり興味がない	24.7	23.0	26.3	24.1	24.1	25.8
4. ぜんぜん興味がない	24.9		29.4	20.3	25.5	24.1	25.0		
の番組「催眠術」	1. とても好き	30.1	30.0	30.2	32.9	32.0	25.1		
	2. わりと好き	23.5	18.3	28.9	22.7	23.3	24.8		
	3. あまり興味がない	22.0	20.4	23.6	20.7	20.3	25.0		
	4. ぜんぜん興味がない	24.4	31.3	17.3	23.7	24.4	25.1		
6	次のようなことをしたことがあるか	たの幸福(不幸)の手紙を出した	1. 何回もした	0.9	1.2	0.5	1.0	0.6	0.9
			2. わりとした	1.2	1.0	1.4	1.3	1.1	1.1
			3. 1、2回した	4.7	3.4	6.1	4.2	3.7	6.2
			4. したことがない	93.2	94.4	92.0	93.5	94.6	91.8
		た「ごっこ」をたさん」をした	1. 何回もした	3.2	2.4	4.0	2.2	4.1	3.4
			2. わりとした	2.7	2.1	3.2	2.0	3.2	2.8
			3. 1、2回した	9.5	5.3	13.8	6.5	8.4	13.7
			4. したことがない	84.6	90.2	79.0	89.3	84.3	80.1
		したおまじないをした	1. 何回もした	16.7	8.4	25.1	14.1	19.6	17.0
			2. わりとした	13.0	7.9	18.3	12.8	14.8	11.8
			3. 1、2回した	26.8	22.1	31.5	30.1	23.3	26.1
			4. したことがない	43.5	61.6	25.1	43.0	42.3	45.1

● 資料2 学年・性別集計表

質問項目		全 体	性 別		学 年 別				
			男 子	女 子	4 年	5 年	6 年		
⑥	あるか 次のようなことをしたことがあるか	スプーンを 念力で曲げ ようとした	1. 何回もした	19.5	24.5	14.3	21.0	21.6	15.8
		2. わりとした	11.2	12.1	10.1	11.1	10.8	11.4	
		3. 1、2回した	29.8	26.5	33.1	27.3	30.7	31.7	
		4. したことがない	39.5	36.9	42.5	40.6	36.9	41.1	
	でに願いのため に寺や教会 の入り口で 祈りをした	1. 何回もした	13.2	12.7	13.7	14.6	15.3	9.8	
		2. わりとした	10.1	10.7	9.5	10.9	10.2	9.2	
		3. 1、2回した	22.1	20.4	23.9	22.6	22.0	21.6	
		4. したことがない	54.6	56.2	52.9	51.9	52.5	59.4	
	パワーストーン の買った アクセサリー を買った	1. 何回もした	5.1	2.4	7.9	4.5	5.8	5.1	
		2. わりとした	4.1	1.7	6.5	3.5	4.1	4.7	
		3. 1、2回した	15.3	7.1	23.7	13.9	14.9	17.3	
		4. したことがない	75.5	88.8	61.9	78.1	75.2	72.9	
⑦	ついて 雑誌などの「占い欄」に 見るか	1. 毎月のように見る	15.3	4.6	26.2	12.4	15.9	18.0	
		2. ときどき見ることもある	30.5	24.2	37.0	28.0	34.8	29.6	
		3. 何回か見たことがある	20.8	22.1	19.6	18.2	19.8	24.7	
		4. 1回も見たことがない	33.4	49.1	17.2	41.4	29.5	27.7	
	当たると思うか	1. とてもよく当たる	3.1	3.0	3.1	3.2	3.7	2.3	
		2. わりと当たる	10.9	5.8	16.1	11.8	9.1	11.6	
		3. ときどき当たる	34.7	26.2	43.1	36.0	34.7	33.3	
		4. ほとんど当たらない	23.6	25.6	21.6	22.4	26.7	22.2	
		5. ぜんぜん当たらない	27.7	39.4	16.1	26.6	25.8	30.6	
	⑧	次のことがどのくらいあるか 死んだ人の 顔を見た	1. 何回もある	13.3	12.7	13.9	11.7	11.6	16.4
2. 1回だけある			37.8	36.2	39.3	34.9	38.6	40.2	
3. ぜんぜんない			48.9	51.1	46.8	53.4	49.8	43.4	
お葬式に 出た		1. 何回もある	26.2	23.9	28.6	23.1	25.5	30.4	
		2. 1回だけある	41.9	43.2	40.5	42.2	42.0	41.5	
		3. ぜんぜんない	31.9	32.9	30.9	34.7	32.5	28.1	
生まれたとき の赤ちゃん を見た		1. 何回もある	24.8	22.3	27.5	24.1	23.1	27.3	
		2. 1回だけある	32.5	33.5	31.4	34.7	29.7	32.3	
		3. ぜんぜんない	42.7	44.2	41.1	41.2	47.2	40.4	
お年寄りの 世話をした 話をした		1. 何回もある	29.8	29.2	30.5	26.1	31.6	32.4	
		2. 1回だけある	29.0	26.7	31.4	32.1	27.7	26.7	
		3. ぜんぜんない	41.2	44.1	38.1	41.8	40.7	40.9	
身障者と 話をした	1. 何回もある	20.4	18.9	22.0	19.9	22.8	18.9		
	2. 1回だけある	19.2	18.9	19.6	16.4	17.2	24.2		
	3. ぜんぜんない	60.4	62.2	58.4	63.7	60.0	56.9		
⑨	「不思議なこと」は本当にあると思うか テレビシー	1. ぜったいある	8.6	9.1	8.1	6.7	11.4	8.3	
		2. あるかもしれない	33.5	27.9	39.3	28.2	36.7	36.8	
		3. たぶんないだろう	27.3	23.9	30.6	27.9	25.6	28.0	
		4. ぜったいいない	24.3	31.5	17.0	28.0	21.6	22.4	
		5. 意味がわからない	6.3	7.6	5.0	9.2	4.7	4.5	
	生まれ変わり	1. ぜったいある	14.1	13.8	14.4	11.1	17.5	14.4	
		2. あるかもしれない	34.9	33.1	36.6	28.7	35.9	40.8	
		3. たぶんないだろう	21.8	20.4	23.3	22.9	23.4	19.3	
		4. ぜったいいない	26.0	28.5	23.5	31.9	22.1	22.9	
		5. 意味がわからない	3.2	4.2	2.2	5.4	1.1	2.6	
	心霊写真	1. ぜったいある	34.5	33.7	35.3	32.8	38.6	32.9	
		2. あるかもしれない	35.3	31.0	39.7	34.5	33.0	38.1	
		3. たぶんないだろう	12.6	13.0	12.2	13.6	11.7	12.4	
		4. ぜったいいない	15.7	19.8	11.5	17.1	15.2	14.5	
		5. 意味がわからない	1.9	2.5	1.3	2.0	1.5	2.1	

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	4年	5年	6年		
⑨	「不思議なこと」は本当にあると思うか	いり神	1. ぜったいある	11.3	8.9	13.8	12.9	13.7	7.5
		がす社	2. あるかもしれない	55.4	49.8	60.9	55.5	57.2	53.5
		かなと	3. たぶんないだろう	21.2	24.8	17.6	19.0	20.6	24.2
		願	4. ぜったいいない	12.1	16.5	7.7	12.6	8.5	14.8
	「お守り」のききめ	して悪	1. ぜったいある	18.7	17.2	20.3	19.1	21.9	15.6
		たら、い	2. あるかもしれない	46.4	41.4	51.3	44.2	46.8	48.2
		ら、おほ	3. たぶんないだろう	20.0	21.6	18.5	21.3	19.9	18.8
		らう	4. ぜったいいない	14.9	19.8	9.9	15.4	11.4	17.4
	「お守り」のききめ	いあ	1. ぜったいある	21.9	21.5	22.3	23.7	25.3	17.1
		がけお	2. あるかもしれない	56.4	49.1	63.7	54.8	55.3	58.9
		かなと	3. たぶんないだろう	12.5	16.1	8.9	12.1	12.4	13.1
		願	4. ぜったいいない	9.2	13.3	5.1	9.4	7.0	10.9
	「たたり」	いあ	1. ぜったいある	10.4	10.9	10.0	12.4	11.3	7.5
		がけお	2. あるかもしれない	52.8	48.2	57.2	53.8	55.7	48.9
		かなと	3. たぶんないだろう	24.6	24.0	25.3	20.9	24.1	29.3
		願	4. ぜったいいない	12.2	16.9	7.5	12.9	8.9	14.3
		たり	5. 意味がわからない	20.6	20.9	20.3	22.5	24.1	15.4
	「神かくし」	たり	2. あるかもしれない	35.5	32.4	38.7	33.1	32.5	40.9
			3. たぶんないだろう	19.9	18.3	21.5	16.3	21.8	22.3
			4. ぜったいいない	16.5	20.8	12.0	17.8	13.8	17.3
		5. 意味がわからない	7.5	7.6	7.5	10.3	7.8	4.1	
		1. ぜったいある	10.3	9.1	11.4	10.9	11.1	8.9	
⑩	「不思議なもの」は本当にいると思うか	強い「	1. ぜったいいる	47.6	43.9	51.3	48.0	53.3	42.0
		人「	2. いるかもしれない	29.1	26.2	31.9	25.7	28.1	33.8
		の	3. たぶんいるだろう	12.8	14.8	10.9	12.7	12.5	13.3
			4. ぜったいいない	7.8	11.1	4.5	8.8	5.2	9.0
			5. 意味がわからない	2.7	4.0	1.4	4.8	0.9	1.9
	「霊視」		1. ぜったいいる	32.2	30.2	34.1	34.3	35.6	26.7
			2. いるかもしれない	31.8	28.0	35.6	28.6	32.0	35.4
			3. たぶんいるだろう	18.5	18.8	18.3	18.7	17.7	19.0
			4. ぜったいいない	15.1	20.4	9.8	15.2	13.4	16.5
			5. 意味がわからない	2.4	2.6	2.2	3.2	1.3	2.4
	「妖精」		1. ぜったいいる	8.5	7.4	9.7	6.5	13.1	6.8
			2. いるかもしれない	22.6	16.9	28.5	21.5	24.0	22.6
			3. たぶんいるだろう	20.8	19.4	22.2	24.2	18.3	19.1
			4. ぜったいいない	41.8	48.1	35.3	42.8	39.4	42.8
			5. 意味がわからない	6.3	8.2	4.3	5.0	5.2	8.7
「すてきな人」		1. ぜったいいる	17.5	18.8	16.2	17.7	19.5	15.6	
		2. いるかもしれない	28.5	25.1	32.0	27.6	31.0	27.4	
		3. たぶんいるだろう	25.0	22.8	27.3	26.1	21.5	26.8	
		4. ぜったいいない	29.0	33.3	24.5	28.6	28.0	30.2	
⑪	「あなたが信じているか」	すて	1. ぜったい信じる	41.0	38.7	43.4	46.8	45.6	30.7
		きな	2. 少し信じる	41.5	38.4	44.7	39.6	39.1	45.7
		人	3. あまり信じない	11.1	14.0	8.1	7.8	11.0	14.8
		を	4. ぜんぜん信じない	6.4	8.9	3.8	5.8	4.3	8.8

● 資料 2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	4年	5年	6年		
11	あな	生命線が長生きできる	1. ぜったい信じる	21.7	20.9	22.6	21.5	26.0	18.3
			2. 少し信じる	46.4	42.4	50.5	45.7	47.8	46.0
			3. あまり信じていない	20.4	20.3	20.4	20.2	18.8	21.9
			4. ぜんぜん信じていない	11.5	16.4	6.5	12.6	7.4	13.8
	あな	耳たぶがふっくらしている	1. ぜったい信じる	21.4	24.4	18.2	19.7	28.4	17.0
			2. 少し信じる	34.3	30.7	38.2	30.8	36.7	36.4
			3. あまり信じていない	28.8	24.7	33.0	30.3	24.8	30.7
			4. ぜんぜん信じていない	15.5	20.2	10.6	19.2	10.1	15.9
	あな	血液型で性格がわかる	1. ぜったい信じる	26.3	22.2	30.6	24.7	29.7	25.3
			2. 少し信じる	38.3	34.0	42.6	36.4	40.2	38.6
			3. あまり信じていない	22.1	25.1	19.1	24.5	21.0	20.4
			4. ぜんぜん信じていない	13.3	18.7	7.7	14.4	9.1	15.7
	あな	13日の縁起が悪い	1. ぜったい信じる	21.6	20.1	23.1	21.6	21.6	21.6
			2. 少し信じる	29.2	25.6	32.9	26.9	28.1	32.7
			3. あまり信じていない	28.4	27.0	29.9	29.6	29.3	26.3
			4. ぜんぜん信じていない	20.8	27.3	14.1	21.9	21.0	19.4
	あな	霊柩車を見たとき、お母さんが死ぬと信じていない	1. ぜったい信じる	15.0	11.5	18.5	17.1	14.9	12.5
			2. 少し信じる	23.0	16.3	29.9	24.8	22.7	21.3
			3. あまり信じていない	28.6	28.8	28.4	27.8	26.2	31.6
			4. ぜんぜん信じていない	33.4	43.4	23.2	30.3	36.2	34.6
	あな	3人の写真を持って早く死ぬ	1. ぜったい信じる	8.0	5.1	10.9	10.2	6.5	6.8
			2. 少し信じる	19.3	14.2	24.6	22.4	19.2	16.0
			3. あまり信じていない	30.4	27.1	33.7	30.7	26.6	33.5
			4. ぜんぜん信じていない	42.3	53.6	30.8	36.7	47.7	43.7
	あな	悪いくことが名前を変え	1. ぜったい信じる	5.3	5.3	5.2	6.6	4.3	4.7
			2. 少し信じる	16.6	14.8	18.4	20.2	14.5	14.3
			3. あまり信じていない	34.6	30.4	39.0	34.3	36.7	33.1
			4. ぜんぜん信じていない	43.5	49.5	37.4	38.9	44.5	47.9
あな	お盆には盆舟が流れる	1. ぜったい信じる	27.0	24.8	29.3	27.8	31.3	22.4	
		2. 少し信じる	33.2	29.8	36.8	30.4	31.8	37.8	
		3. あまり信じていない	21.5	22.5	20.4	23.1	21.6	19.5	
		4. ぜんぜん信じていない	18.3	22.9	13.5	18.7	15.3	20.3	
あな	茶柱が立つ	1. ぜったい信じる	35.9	36.1	35.8	36.2	40.9	31.3	
		2. 少し信じる	38.3	34.1	42.6	35.6	39.0	40.6	
		3. あまり信じていない	16.1	16.7	15.5	17.7	13.8	16.4	
		4. ぜんぜん信じていない	9.7	13.1	6.1	10.5	6.3	11.7	
あな	お墓参りをすると喜ぶ	1. ぜったい信じる	40.7	41.1	40.4	44.8	43.1	34.1	
		2. 少し信じる	39.2	37.2	41.1	35.1	42.7	40.7	
		3. あまり信じていない	12.7	11.8	13.7	12.3	9.7	15.8	
		4. ぜんぜん信じていない	7.4	9.9	4.8	7.8	4.5	9.4	
あな	天国と地獄	1. ぜったい信じる	27.2	26.8	27.7	29.2	28.4	24.1	
		2. 少し信じる	35.8	31.9	39.7	35.6	35.4	36.3	
		3. あまり信じていない	22.2	21.2	23.3	21.5	22.1	23.1	
		4. ぜんぜん信じていない	14.8	20.1	9.3	13.7	14.1	16.5	
12	神や仏に折るか	病気がひどいとき	1. よく折る	22.6	20.9	24.3	26.5	26.8	14.7
			2. たまに折る	41.3	39.7	43.0	41.4	39.6	42.5
			3. 折らない	36.1	39.4	32.7	32.1	33.6	42.8
	病気の人が折るか	病気の人が折るか	1. よく折る	36.7	31.9	41.7	42.1	40.4	27.5
			2. たまに折る	39.1	37.2	40.9	37.6	36.1	43.1
			3. 折らない	24.2	30.9	17.4	20.3	23.5	29.4

● 資料2 学年・性別集計表

質問項目			全 体	性 別		学 年 別					
				男 子	女 子	4 年	5 年	6 年			
12	神や仏に祈るか	くうよまよくにいたことが起きるとき	1. よく祈る	32.7	31.3	34.3	36.8	33.6	27.4		
			2. たまに祈る	29.5	24.2	35.0	28.7	30.1	30.0		
			3. 祈らない	37.8	44.5	30.7	34.5	36.3	42.6		
		うかわなとき	友だちが	1. よく祈る	22.1	19.0	25.3	28.1	21.3	16.0	
				2. たまに祈る	39.5	33.6	45.6	35.5	40.3	43.4	
				3. 祈らない	38.4	47.4	29.1	36.4	38.4	40.6	
		13	「花子さん」の怪談を知っているか	ある場所か	1. 知っている	73.6	64.6	82.7	68.8	78.8	74.5
					2. 知らない	26.4	35.4	17.3	31.2	21.2	25.5
					3. よく知らない	37.7	42.7	32.6	33.9	36.0	43.4
(複数回答)	どこに出るか			1. トイレ	95.6	93.9	96.8	96.2	94.1	96.7	
				2. 教室	8.7	9.4	8.2	3.4	11.7	13.9	
				3. 音楽室	19.5	23.0	17.3	18.2	20.5	20.5	
				4. 理科室	20.5	23.4	18.6	16.7	29.3	15.2	
				5. 階段	21.9	25.4	19.7	23.9	23.9	15.9	
				6. 校庭	7.9	10.7	6.1	5.3	10.7	8.6	
				7. プール	11.9	15.2	9.8	8.3	15.6	13.2	
				8. その他	16.1	16.4	16.0	12.5	20.5	16.6	
出るか	本当に出るか			1. 本当に見た人がいる	34.3	26.3	39.3	28.9	45.3	28.7	
				2. 気のせいだろう	44.8	48.3	42.6	53.1	38.3	39.3	
ついでに	神や仏に			1. ぜったいいる	44.6	43.1	46.2	50.3	49.7	33.7	
				2. もしかしたら、いるかもしれない	48.3	45.9	50.7	44.8	42.9	56.9	
		3. いない	7.1	11.0	3.1	4.9	7.4	9.4			
15	家族の人は、毎日拝むか	かあさん	1. ある	38.4	38.9	37.9	39.6	32.7	41.9		
			2. ない	61.6	61.1	62.1	60.4	67.3	58.1		
		お父さん	1. 毎日熱心に拝む	19.1	19.4	18.9	20.4	21.3	16.3		
			2. ときどき拝む	35.1	35.1	34.9	38.4	30.9	34.1		
			3. ほとんど拝まない	22.0	21.5	22.5	21.8	22.1	22.3		
			4. ぜんぜん拝まない	20.0	19.7	20.4	16.2	22.8	22.3		
			5. その人がいない	3.8	4.3	3.3	3.2	2.9	5.0		
		お母さん	1. 毎日熱心に拝む	26.3	25.0	27.6	24.9	25.4	28.4		
			2. ときどき拝む	39.0	38.9	39.1	44.2	31.3	38.4		
			3. ほとんど拝まない	17.5	16.8	18.3	14.3	24.6	16.3		
			4. ぜんぜん拝まない	14.5	16.4	12.5	13.8	17.2	13.5		
			5. その人がいない	2.7	2.9	2.5	2.8	1.5	3.4		
		おじいさん	1. 毎日熱心に拝む	23.6	21.6	25.6	29.4	17.3	21.3		
			2. ときどき拝む	19.6	20.9	18.3	19.4	23.6	17.3		
			3. ほとんど拝まない	8.8	9.2	8.4	7.1	9.4	10.2		
			4. ぜんぜん拝まない	9.2	12.1	6.1	10.4	8.7	8.1		
			5. その人がいない	38.8	36.2	41.6	33.7	41.0	43.1		
		おばあさん	1. 毎日熱心に拝む	46.1	43.3	48.9	49.8	41.9	45.1		
			2. ときどき拝む	22.6	24.4	20.8	24.6	25.0	18.8		
			3. ほとんど拝まない	4.9	4.0	5.8	5.2	5.1	4.5		
			4. ぜんぜん拝まない	5.1	5.8	4.4	4.3	5.9	5.4		
5. その人がいない	21.3		22.5	20.1	16.1	22.1	26.2				

● 資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別			
			男子	女子	4年	5年	6年	
16	行くお墓参りに	1. みんなでそろって、必ず行く	39.7	38.9	40.4	40.6	41.4	37.0
		2. たいてい行く	27.9	28.3	27.6	22.5	28.1	33.8
		3. たまに行く	17.7	19.1	16.2	20.1	15.6	16.9
		4. あまり行かない	14.7	13.7	15.8	16.8	14.9	12.3
17	好き外遊びが	1. とてもそう	49.9	58.7	40.7	56.3	52.6	40.3
		2. わりとそう	32.8	30.4	35.3	29.7	33.0	36.1
		3. あまりそうでない	14.8	8.7	21.2	11.5	12.7	20.4
		4. ぜんぜんそうでない	2.5	2.2	2.8	2.5	1.7	3.2
	が本を読み好きの	1. とてもそう	30.6	25.7	35.5	33.0	30.9	27.6
		2. わりとそう	35.4	34.7	36.3	36.9	34.8	34.4
		3. あまりそうでない	24.5	27.0	22.0	22.9	24.1	26.7
		4. ぜんぜんそうでない	9.5	12.6	6.2	7.2	10.2	11.3
	るスポーツが好きす	1. とてもそう	52.0	64.9	38.7	54.7	54.6	46.4
		2. わりとそう	24.0	18.3	29.8	22.8	22.6	26.6
		3. あまりそうでない	17.8	12.8	23.0	15.2	17.4	21.2
		4. ぜんぜんそうでない	6.2	4.0	8.5	7.3	5.4	5.8
	るぐん決めてもらえず	1. とてもそう	7.1	7.6	6.6	6.1	9.1	6.6
		2. わりとそう	26.4	26.5	26.2	28.5	27.2	23.4
		3. あまりそうでない	51.8	48.0	55.7	50.3	51.3	53.7
		4. ぜんぜんそうでない	14.7	17.9	11.5	15.1	12.4	16.3
	ががんばる方	1. とてもそう	24.3	27.9	20.6	29.5	24.2	18.6
		2. わりとそう	38.7	34.5	43.0	37.6	40.3	38.4
		3. あまりそうでない	30.5	29.1	32.0	26.3	30.5	35.3
		4. ぜんぜんそうでない	6.5	8.5	4.4	6.6	5.0	7.7
	が空想するの	1. とてもそう	30.0	27.5	32.6	29.5	37.5	24.1
		2. わりとそう	27.7	25.6	29.8	29.5	23.3	29.6
		3. あまりそうでない	30.0	31.3	28.6	26.3	29.6	34.2
		4. ぜんぜんそうでない	12.3	15.6	9.0	14.7	9.6	12.1
	わ暗い所がこ	1. とてもそう	22.3	17.8	26.9	22.0	23.9	21.3
		2. わりとそう	27.3	22.0	32.8	25.7	28.4	28.2
		3. あまりそうでない	28.1	31.3	24.7	29.0	27.1	27.9
		4. ぜんぜんそうでない	22.3	28.9	15.6	23.3	20.6	22.6
	えよく夢を覚	1. とてもそう	30.9	31.0	30.8	35.8	31.9	24.5
		2. わりとそう	32.8	31.0	34.6	29.2	35.8	34.1
		3. あまりそうでない	24.6	21.9	27.3	22.8	23.6	27.5
		4. ぜんぜんそうでない	11.7	16.1	7.3	12.2	8.7	13.9
	い友だちが多	1. とてもそう	40.7	46.1	35.3	46.4	42.7	32.8
		2. わりとそう	41.4	37.5	45.3	35.2	43.0	46.8
		3. あまりそうでない	14.2	12.8	15.6	14.5	11.7	15.9
		4. ぜんぜんそうでない	3.7	3.6	3.8	3.9	2.6	4.5
	今、幸せ	1. とてもそう	37.6	34.1	41.1	41.6	39.0	32.1
		2. わりとそう	34.2	33.3	35.2	30.1	37.4	36.0
		3. あまりそうでない	17.9	19.0	16.8	18.0	15.6	19.7
		4. ぜんぜんそうでない	10.3	13.6	6.9	10.3	8.0	12.2